

プロフィール & 曲紹介

大阪外国語大学グリークラブOB会（東京）

大阪外国語大学グリークラブの関東地区在住OBを中心とする男声合唱団です。大阪外国語大学グリークラブは、昭和初期には作曲家の清水脩氏が学生指揮者を務めた伝統ある合唱団ですが、1998年に部員の減少から廃部となりました。そこで、伝統の灯を消すまいと大阪・東京でOB合唱団として練習を続けています。主なレパートリーとして、大学の性格から原語で歌う世界の名曲と、清水脩氏の合唱曲を二本柱としています。5年前から二期会の小貫岩夫氏を指導者に迎え、厳しい指導の下、練習に励んでいます。

清水脩作曲「アイヌのウポポ」：

作曲家の故清水脩氏は、外語グリーの第3代学生指揮者を務め、昭和7年にフランス語部を卒業。ウポポとはアイヌ語で歌の意味である。

Iくじら祭り：（鯨が浜で上ったよ、目の見える人たち、行ってごらん）鯨になってうずくまる人のまわりを鳥になった人が羽のように両手をひろげて踊る。

IIイヨマンテ（熊祭り）：（歌詞の意味不明）檻の中の熊を元気づける歌

IIIピリカ ピリカ：（今日はよいお天気だ、どなたが好き、えらんであげよ）

IV日食月食に祈る歌：（光りの神様「太陽や月」あなたは死んでしまった。生き返って下さい。
ホイ、ホーキワ、ホイは神に祈り呼びかけることば）

V恋歌：（林の木にもたれて、小鳥の囀りをきく、恋人は今ごろ、どうしていよう。

ヤイ サマネナは はやしことば）乙女の恋の悲歌。

VIリムセ（輪舞）：（全てかけ声やはやしことば、ホロロロ…は舌をころがすヨーデル）熊祭り
や祝いの時に円く輪になって踊りながら歌う。

東京外国語大学混声合唱団コール・ソレイユ

コール・ソレイユは1976年に正式結成された、東京外国語大学唯一の合唱団です。1978年以降は鈴木成夫先生を常任指揮者として迎え、その熱心なご指導のもと、委嘱作品の初演、鈴木先生がご指導なさっている他3つの合唱団と合同の演奏会「遊声」、冬の定期演奏会など、現在に至るまで様々な活動を行ってきました。歌い手、聞き手の両方が歌を楽しむことのできるステージを目指し、日々活動しております。

本日演奏します五曲は、ソレイユの愛唱曲集ともいえる選曲となっています。私たち自身も、愛唱曲を演奏会で演奏する機会はあまり多くないので今日の演奏会を楽しみにしておりました。演奏を聞いてくださった皆様に心地の良い時間を過ごしていただければ嬉しいです。どうぞお楽しみください。

男声合唱団ハートストリングス

1991年、関東大学合唱連盟に加盟していた東京近郊の大学混声合唱団のOB有志により結成、活動を始めました。その後メンバー交換を経て、現在はさまざまな経験・個性をもつメンバーで構成され、小人数ですが気の合った温かい音楽を目指して練習に取り組んでおります。また、自主公演をはじめ、合唱祭やジョイントコンサートなどで練習の成果を発表させていただいております。なお新規メンバー募集中です。お気軽にどうぞ。

小貫 岩夫（二期会会員）

同志社グリークラブのトップ・テナーのパート・リーダーとして数多くのソロを務め、神学科を卒業後大阪音楽大学に入学。林誠氏（外大グリーのボイス・トレーナー、指揮者を30年以上にわたり務め、現在は音楽監督）に師事し、主席で卒業。文化庁オペラ研修所第11期終了。1998年文化庁派遣でミラノに留学。「忠臣蔵」「ニュルンベルクのマイスター・ジンガー」「椿姫」「コシ・ファン・トゥッテ」等二期会公演でいずれも喝采を浴びた。本年7月、二期会公演「魔笛」に王子タミーナ役で出演予定。